

2024 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	時事問題 (Current Topics) 393145-14-200					担当教員	樋口 圭治 (ヒグチ ケイジ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3 年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要

時事問題を理解するための知識を身につけ、時事問題に対して関心を高めることを目的とする。時事問題に関心を持ち、これを理解するための知識を得ることは、自分が生きている社会に対する理解を深めることになる。授業では、政治、経済、社会・環境、国際の4つの分野から時事問題を取りあげ、これを理解するための基礎知識について学ぶ。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

職業人として通用する能力
情報収集・分析能力

③ 授業の進め方・指示事項

- ・テキスト（教科書）を使用する。使用するテキストの詳細は、下記の「⑥テキスト（教科書）」を確認すること。授業にテキストを持参すること。
- ・必要に応じて資料を配布する。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

⑤ テキスト（教科書）

ニュース検定公式テキスト編集委員会編 日本ニュース時事能力検定協会監修 (2024)『2024 年度版ニュース検定 公式テキスト&問題集「時事力」基礎編 (3・4級対応)』毎日新聞出版
*毎年3月下旬頃に出版される。シラバス作成時点では、2024年度版が出版されるという推測のもと記入している。2024年度版が出版されない場合、2023年度版を使用する。

⑥ 参考図書・指定図書

ニュース・リテラシー研究所編『【図解】まるまわり時事用語 (2023-2024 年版)』(株)新星出版社。2024-2025 年版が出版された場合には、そちらを参考とする。
朝日新聞出版編『新 地政学』朝日新聞出版

⑦ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安

- (i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。
- (ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べることができるようになる。

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S	A	B	C	D
	到達目標を越えたレベルを達成している	到達目標を達成している	到達目標達成にはやや努力を要する	到達目標達成には努力を要する	到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。	教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明でき、さらに教科書に書かれていない時事用語も駆使できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用せずとも説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用すれば説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があれば説明できる。	教科書の時事用語を、教科書を使用し、さらに教員の支援があっても説明できない。
(ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。	新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題の指摘と課題解決のための提言ができる。	新聞記事の内容の背景を説明したうえで、課題を指摘することができる。	新聞記事の内容の背景について、説明することができる。	新聞記事の内容の背景について、教員の支援があれば、説明することができる。	新聞記事の内容の背景について、教員の支援があっても説明することができない。

⑨ 学習到達目標（評価項目）	定期試験（レポート含む）	小テスト	課題	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	50%	20%			30%		100%
(i) 時事問題を理解するための基礎知識を身につける。	25%	10%			15%		50%
(ii) 時事問題について、他人に自分の考えを述べるようになる。	25%	10%			15%		50%
フィードバックの方法	小テストは採点后、解説の時間を設ける。						

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
丁寧な解説と分かりやすい授業資料等の活用を行う。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	イントロダクション	シラバスを熟読し授業の目的を理解したうえで授業に参加する。	60 分
2	時事問題（地政学）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120 分
3	時事問題（地政学）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180 分
4	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120 分
5	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180 分
6	時事問題（政治分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	240 分
7	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120 分
8	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180 分
9	時事問題（経済分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	240 分
10	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120 分
11	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180 分
12	時事問題（社会・環境分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	240 分
13	時事問題（国際分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120 分
14	時事問題（国際分野）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	180 分
15	時事問題（文化）の解説	授業終了後に授業で説明した教科書の重要箇所の確認を行う。	120 分
⑫ アクティブラーニングについて			
知識定着・確認型 AL を採用する。新聞記事などを用いた現実の現象説明への応用にも取り組む。小テストを行い、場合によっては小テストの結果をもとに議論を深める。			

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性